

1. 研究課題名

10年間に経験した品胎妊娠22例の検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

近年不妊治療による妊娠が増え、多胎妊娠（双子や三つ子）が増加しています。なかでも品胎（三つ子）の妊娠は双胎（双子）の妊娠よりもリスクが高いことが知られています。本研究では当院で分娩管理を行った品胎妊娠の実態を明らかにすることを目的としています。対象期間は2015年1月から2025年8月で、研究期間は2026年12月31日までを予定しています。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2015年1月から2025年8月の間に、当院で妊娠管理し、妊娠12週以降に分娩となった品胎の方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、①母体年齢、妊娠回数、②分娩週数、③妊娠中の治療、④分娩転帰、⑤児の情報などです。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 第一産婦人科／田畑 遼（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604

担当：第一産婦人科 田畑 遼、有馬 香織